



建設部門の「安全」の向上のための方策

坂田 正宏（1965年生、福井県美浜町）

2級ビオトープ施工管理士

1級ビオトープ施工管理士

技術士（建設部門 建設環境、河川、道路）

技術士（総合技術監理部門）

労働安全コンサルタント

コンクリート診断士

1級土木施工管理技士

建設セーフティマネージャ

勤務先；

1985～2025.3 福井県

2025.4～（株）エイコー技術コンサルタント（敦賀市）

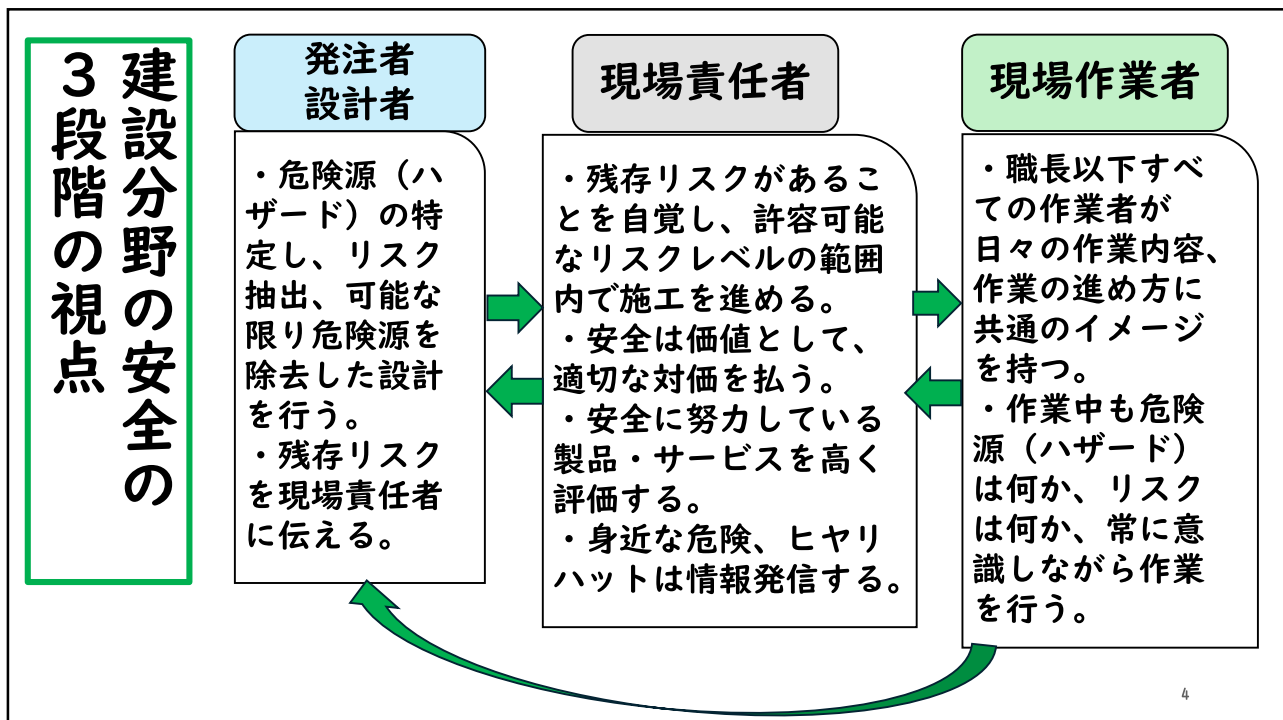
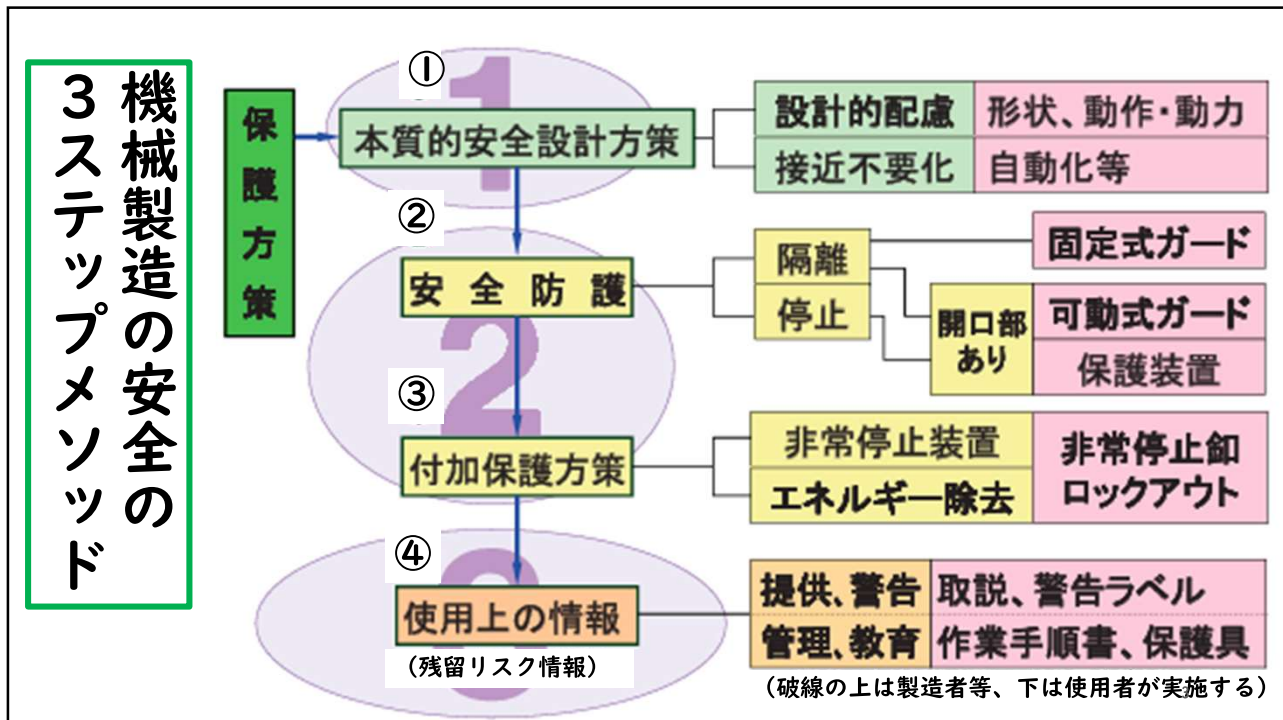
1

目次

1. “機械製造”の安全のスリーステップと 建設部門の3段階の視点

2. Safety1とSafety2

2



Ⅰ．発注者・設計者の視点

5

路 線 名	:	一般国道162号
区 間	:	福井県小浜市阿納尻～小浜市田烏
延 長	:	約5.4 km
事業着手	:	平成3年度
構造規格	:	第3種第3級
設計速度	:	50 km/h
道路幅員	:	11.0 m (車道幅員6.0 m 2車線)

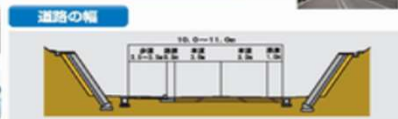
事業の概要 国道162号道路改良 ; 2009年(平成21年)供用開始

の効果

一般国道162号は、京都市を起点として、おおい町、小浜市、若狭町、美浜町を経て敦賀市に至る総延長148.6km(県内延長82.4km)の幹線道路です。

この道路の小浜市向納尻～田島間は、風光明媚な「若狭湾国定公園」内の海岸沿いを通過していますが、道路の幅は狭く、急カーブ区間が多いため通行が困難な区間となっていました。このたび「向納尻～田島バイパス」が完成したことにより、交通の利便性が向上し、県内でも自然景観の豊かなこの地域を訪れる人が増え、地域間交流が活発になることを期待しています。

事業名：道路改良工事（地域連携推進（国道））
路線名：一般国道162号
事業区間：福井県 小浜市 向納尻～田島
事業費：約142億円
工区延長：L=5,379m
(向納尻～向納区 L=1,390m)
(志摩～田島区 L=3,989m)
事業期間：平成3年度～平成21年度



自然公園区域内 国道162号 小浜市田島(たがらす) かにやの棚田 設計区間340mでの安全の向上

②谷埋め盛土→橋梁
；貴重種保全

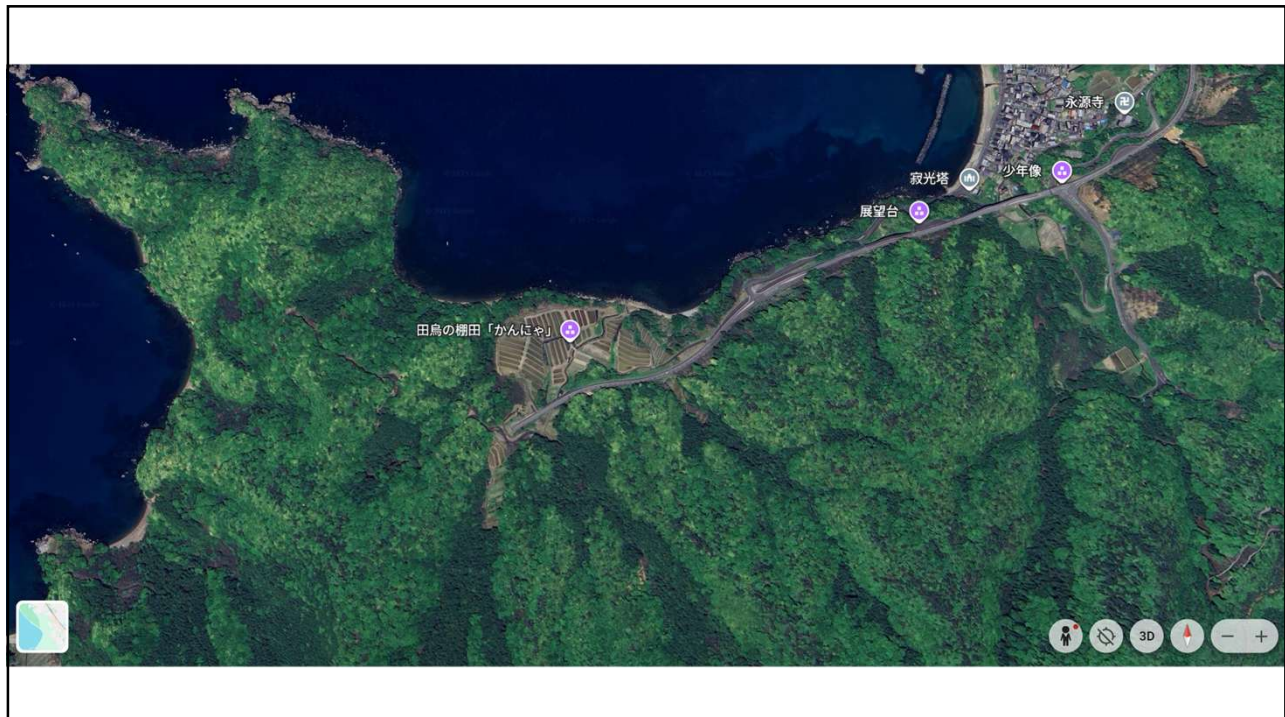
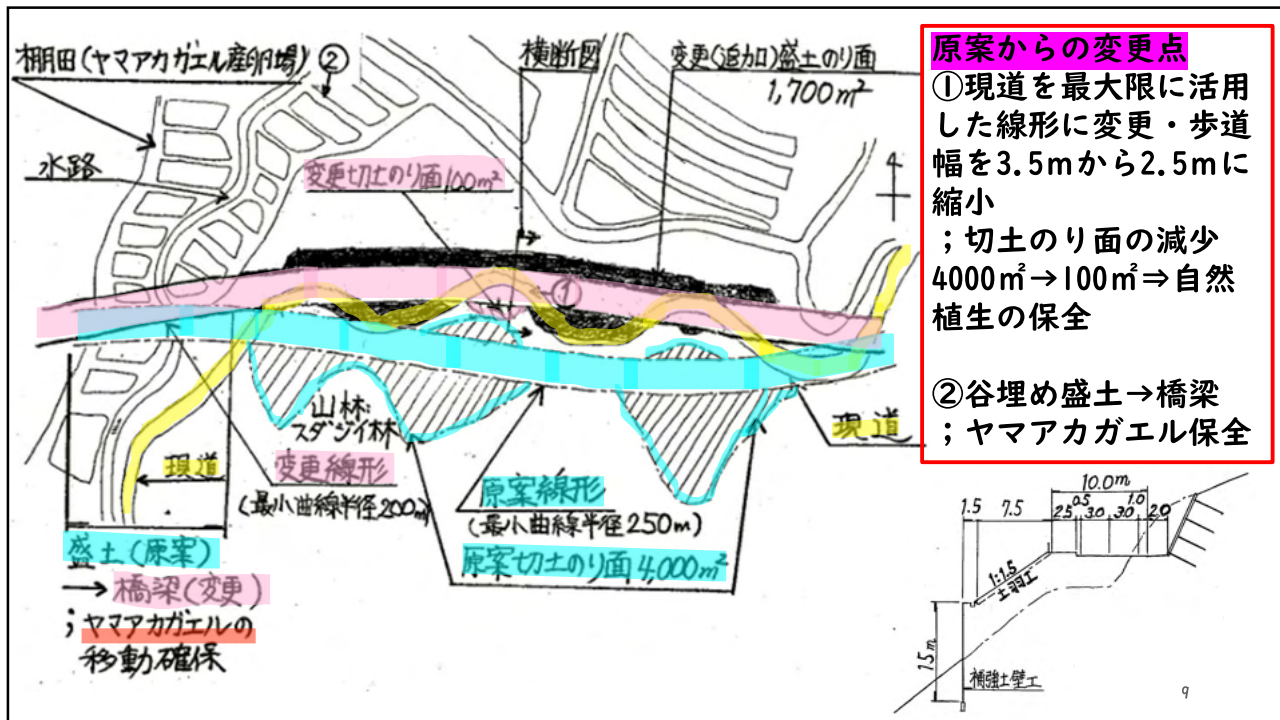


道路改良後 2008年



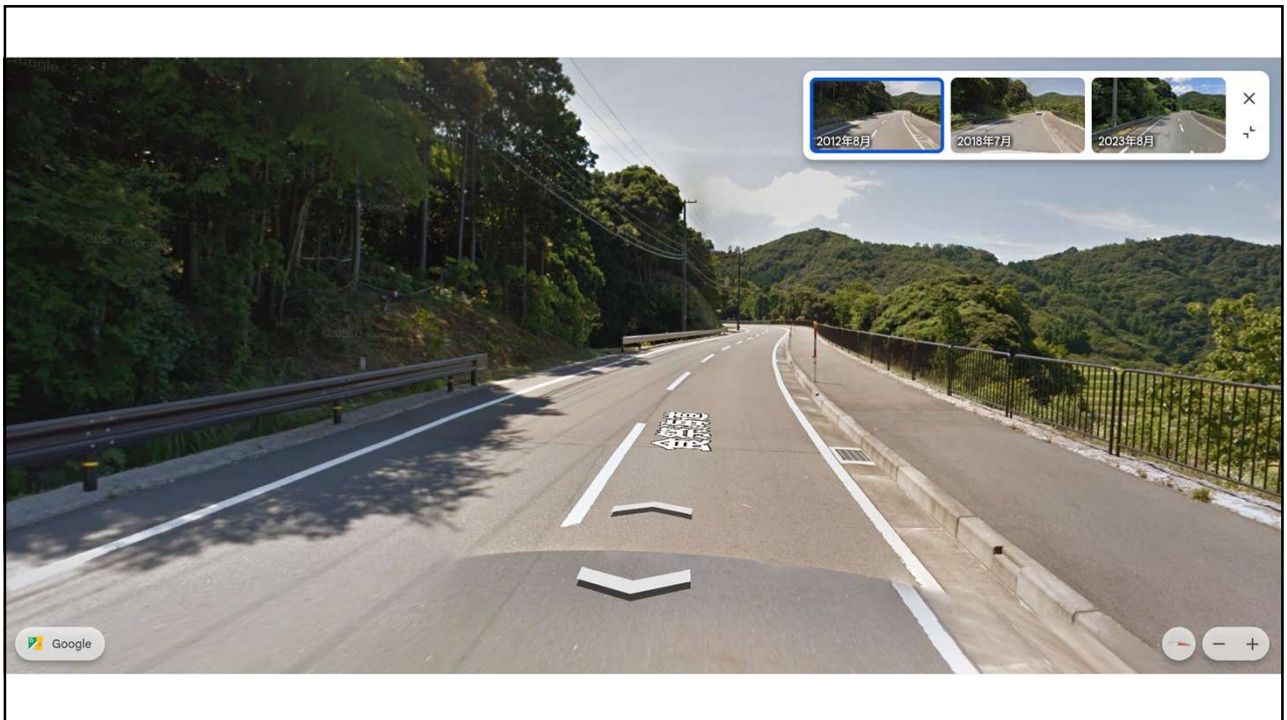
道路改良前 2006年

①現道を最大限に活用した線形に変更・歩道幅を3.5mから2.5mに縮小；切土のり面の減少4000㎡→100㎡













発注者・設計者の視点の事例のまとめ 原案からの変更点；生態系に配慮した設計に変更

- ①・道路線形を**現道を活かした線形**に変更
・幅員の縮小(**歩道幅員3.5mから2.5m**に)

切土法面が4000㎡→100㎡に縮小
；自然植生(スダジイ林等)の保全

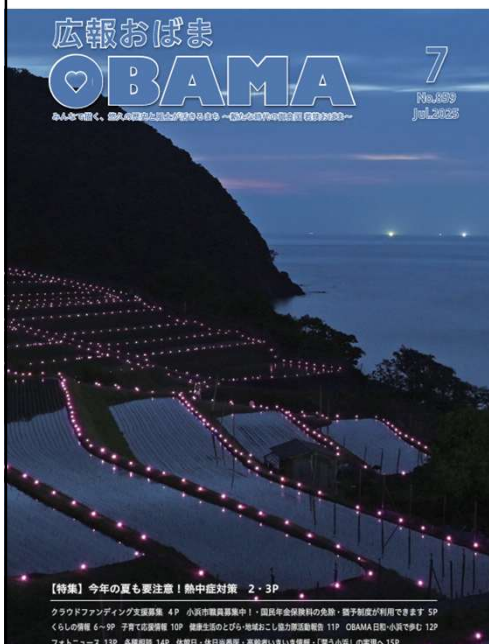
- ②・谷埋め盛土を**橋梁**に変更

貴重種(ヤマアカガエル)の産卵場、
移動路の保全

結果として、施工時と維持管理時の安全性の向上につながる設計になった。

21

小浜市田烏(たがらす)；棚田キャンドルとサバのなれずし



冬季にサバのなれずし作りで使用する棚田